

2016年 7月 29日

平成28年(2016年)熊本地震に対する義援金を寄贈しました  
～南阿蘇村・熊本県・熊本市・益城町・大津町に寄贈～

青木あすなろ建設株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:上野康信)と同社の施工協力会の栄々会と同社のグループ会社、株式会社高松コンストラクショングループ(本社:大阪市淀川区、代表取締役社長:小川完二)と高松建設株式会社(本社:大阪市淀川区、代表取締役社長:西出雅弘)は、本年4月14日に発生した熊本地震の被災地の支援に役立てていただくため、青木あすなろ建設が「立野ダム仮排水路工事」を施工中の南阿蘇村と熊本県、熊本市、益城町、大津町に義援金として計1,100万円を寄贈しました。

この義援金は、青木あすなろ建設グループの社員や協力会社、高松コンストラクショングループ・高松建設に呼びかけて募ったもので、合計11,321,500円が集まりました。

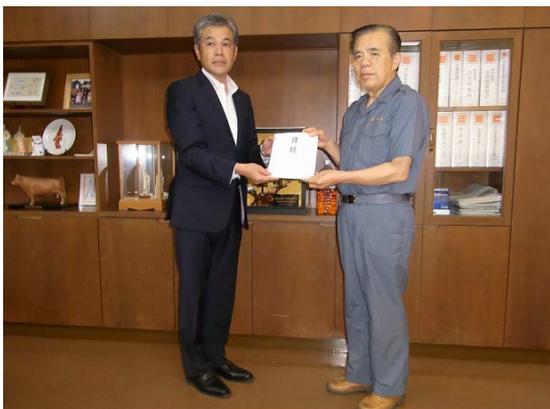
当日は、南阿蘇村役場で、青木あすなろ建設の田野慎一郎常務執行役員大阪土木本店長と栄々会の高野岩雄九州支部長がグループを代表して長野敏也南阿蘇村長に義援金を手渡しました。

田野本店長は「1日も早い復旧を願う。我々も全国から無人化施工の重機を集め、被災地の復旧に取り組んでいる。今後は立野地区のボランティア活動にも協力していきたい」とあいさつしました。

長野村長は「受け取った寄付金は災害復旧の財源として活用させてもらう。被災してダムやトンネル、道路、橋が生活に不可欠というのを実感した。立野地区などいまだに厳しい場所も多く、復旧には建設会社の力が必要になる。協力をお願いしたい」と述べ謝意を示しました。

同日に、田野本店長と高野支部長は熊本県庁で健康福祉部の渡辺政策審議監に、熊本市役所で市議会の澤田議長に、益城町役場で門崎政策審議監に、大津町役場で杉永総務部長にそれぞれ義援金を手渡しました。

また、同社はこれとは別に321,500円を、熊本地震の支援のために日本赤十字社に寄贈することとしています。



㊦ 田野本店長

㊦ 長野南阿蘇村長



㊦ 澤田熊本市議会議員

㊦ 田野本店長

以上